

7866 フィールドワーク(台湾のビジネス・デザイン探索とツーリズム) に参加して

学籍番号：18B141

名 前：森島 龍星

【フィールドワークでの体験と学んだこと】

私は今回のフィールドワークを通して多くのことを体験し、そして学ぶことができました。特に印象に残った体験はやはり、研究発表です。プレゼンテーションをすることは比較的慣れていたのですが、海外というフィールドでは初めてだったので経験したことのない緊張感がありました。自分のやってきた研究をちゃんと伝えることができるのか、そもそも聞いてくれるのか、そういった不安を乗り越えた時の達成感は言葉に現わせないものでした。これが海外で自分の研究・考えを伝えるということなのだと強く感じました。



学んだこととしては、「環境が違えば考え方も大きく変わってくる」ことは自分の中で強い刺激を受けました。考えれば当たり前のことですが、台湾の学生たちと共に学習し、食事をして、観光をして、たくさんコミュニケーションを取って、考え方の違いをととても痛感しました。同時にそれは自分や日本の考え、価値観は世界というフィールドを相手にしたときに、そのまま通用しないということです。このことに、この大学生という段階で体験し学べた、その機会をくださった先生方に感謝しています。

【台湾の学生との交流】



台湾の学生たちとは大学訪問での研究発表や意見交換を通じた学習での交流はもちろんのことですが、自由行動で一緒に街を観光したりご飯を食べに行ったり、ナイトマーケットに行ったりといった交流も多くできました。言葉がほとんど通じない中でのコミュニケーションは色々困難な部分がありましたが、だからこそお互いに拙い英語やジェスチャーを交えて必死に伝えようとしていました。最初は全然伝わらないと思っていましたが全くそんなことはなかったです。思いのほ

かコミュニケーションがスムーズに進んで気持ちも伝わりました。ここまで海外の人たちと交流する機会は初めてだったのでとても新鮮でしたし、コミュニケーションに関して自分に自信をつけることもできました。台湾で築いた人脈を絶やさないで厚みを増していけたらと強く思っています。

異質力で、輝く。和光大学



【全体の感想】

台北では新生医護管理専科学校に赴き、研究発表、及び交流会を行いました。あちらの学生は日本語学科の学生であったため、日本語が伝わりスムーズに交流することができました。特に日本語検定1級を取得している学生の日本語力には驚かされました。まるで日本人と話しているかのような錯覚に陥りました。こんなに日本語が堪能な外国人に出会ったのは初めてだったのでとても刺激的でした。しかも自分より年下なのでなおさら刺激を受けました。自分の将来の目標を見据えたときに、このぐらいの語学力は必要だろうと思いました。自分のモチベーション向上に繋がる出会いでした。



台中では弘光科技大学を訪問しました。ここでも研究発表を行い、意見交換を行いました。たくさんの学生からLINEの交換を迫られたのが印象的でした。夜は現地の学生にナイトマーケットを案内してもらいました。台北とは街並みが大きく異なり、どこかゆったりとした感じの時間の流れを感じました。個人的には一番好きな街でした。

高雄では東方設計大学にてタピオカミルクティーについてのワークショップを行いました。私たちはタピオカミルクティーのマーケティングについて経営学的な視点からの意見を出し、現地の学生からはタピオカの新デザインについてのアイデアを提供してもらい、新たなタピオカビジネスについてのプレゼンテーションをしました。それが終わってからは現地の先生や学生たちとの食事会でした。より砕けた会話ができ、とても濃密な時間を過ごすことができました。次の日に同じグループでワークショップをした学生たちに高雄の街を案内してもらいました。私たちのために入念に計画を立ててくれたことはとても嬉しかったです。

【その他】

私は大学を卒業したら台湾の大学院へ進学したいと悩んでいました。しかし今回のフィールドワークを通して悩みから決心に変わりました。私は大学を卒業したら台湾へ留学します。そのために自分があと2年、やるべきことを着実にこなしていきたいです。中国語であったり、英語であったり、経済学や経営学の知識、物事を見る目、そういったところをより高めていかなければならないです。これからは逃げが効きません。それは十分に自覚しています。改めて、このような機会を下さった先生に感謝します。進路や考え方、その他たくさんの助言を下さったこともとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。今後も宜しくお願いいたします。

異質力で、輝く。和光大学

